K. BRASSER夫人（40才）　（25-2-48 ハーグ）　22184/N

(52) 25-9-43 → 7/45迄 Moentilan ニ於テ　(15)

ワファーナム)

44年1月ト忘レタガ私ハ当時Moentilanキャンプノ第10室ニ居リマシタ。
或日ノ朝10時頃ノホーフトブロック長ノPiereboom夫人ガ来テ日本人ノ命デ
15才カラ35才迄ノ娘ハ全部其ノ日ノ午後教会内ニ列バネバナラヌト語ッタ。
私ハソレハ何ノ為デ有ルカ知ラナカッタガ慰安所ニ連レテ行カレルトノ噂ガアッタ。
其ノ日午後幾多ノ母親ガ娘ニ付添ッテ教会ヘ行クノガ見エタ。
私ハ其ノ人々ノ名前ハ知ラナイガ、此ノ命ニ従ハズニ娘ヲマモラウトシテ
便所ニ隠レタ母親モ数名見タ。
其ノ晩Piereboom夫人ハ娘達ガ教会ノ中デ横山（所長）ノ命ニ依リ日本人ニ依リ
検査サレタト云ッテ居リマシタガ、ソノ方法ハ私ハ知ラナイ。
私ハ之等ノ娘達トソノ後話シタコトハナイ。

(53) Piereboom夫人ノ話ノ他ノ者ガ之等ノ娘達ノ名ヲ云ハザリシヤ？

「記憶ガナイ。我々ハ当時5000人一緒ニ入ッテ居タノデアッタカラ他ノ娘ガ何処ノ者カ知ラナカッタニ違ヒナイ。
ソレカラ数週間後ニ7名ノ娘ガ日本人カラ指名サレ何処カヘ集メラレルト命ゼラレタトイフ
話ヲ聞イタガ、私ハソレガドノ娘ナノカ知ラナイ。
之モ同ジク名ハ知ラナイガ此ノ時二名ノ娘ノ身代リニ二名ノ婦人ガ志望シテ出タ
トイフ話ヲ聞イタ。私ハ彼女等（2名）ガ日本人ノ前ニ警察署ニ居ルノヲ見タ。
其ノ他娘達ガ連行サレタトイフコトハ見モシナカッタシ聞キモシナカッタ。
又此ノ時婦人達ニ依リ騒ギガ起サレタカハ知ラナイ。
憲兵補ガ教会ノ横ノ入口ニ立ッテ通行ヲ遮断シテ居ルノヲ見タ。
今思ヒ出シタガ日本人ニ指名サレタ娘ノ中ノ一人ノ名ハEvie HUPトイッタ。
彼女ガ数日後ニ他ノ一名ノ娘ト共ニ戻サレテ来タトイフ話ヲ聞イタガ、子供ノ時
私ハ彼女ト会ヒ話モシタ。然シ此ノ事件ノコトハ話サナカッタ。
他ノ人々カラモソノ出来事ニ就イテハ私ハ何モ聞カナカッタ。我々ハ非常ニ好奇心ヲ起シテ
居タガ何モ知ルコトガ出来ナカッタ。Evieハ此ノ件ニツイテハ全ク話サウトシナカッタ。
之等ノ婦女子ガ何所ヘ連行サレタノカ我々ニハ判ラナカッタ。

(54) 所内又ハ抑留者ニ依リ此ノ日本人ノ行為ヲ阻止セントスル試ミハ行ハレザリシヤ？

「知ラナイ。私ハ何モ記憶シテ居ナイ。

301